

天王森泉公園 生き物調査と自然観察会

2024.12.3 (火) 晴れ 参加者：20名 9:00~15:30

12月に入ったというのに、歩いているとコートを脱ぎたくなる18°の気温、ただ景色は木々が綺麗に色づき始め、センリョウ、マンリョウ、ガマズミ、ムラサキシキブなどの実がたわわに実っていました。

野の花苑や弁天坂はキク科の花々が白・紫・ピンク・黄色と色とりどりに咲いていました。

野の花苑—見晴らしの丘—くわくわ森—田んぼ—俣野遊水地—下飯田遊水地—今田遊水地

外—外来種 園—園芸種

野の花苑 キク科の仲間たち



磯菊 イソギク 海岸線に咲くキク、潮風に耐えられるよう葉が厚い



山陰菊 サンインギク 山陰地方に咲く シマカンギクとイエギクの自然交雑種



野紺菊 ノコンギク 代表的なノギク



紺菊 コンギク 園ノコンギクの園芸種



野地菊 ノジギク 海岸沿いに分布する 葉の表裏に毛が生える



家菊 イエギク 園平安時代中国から渡来した栽培用の菊



石菖 ツツブキ ツヤのある葉からツツブキ→ツワブキに



野薊 ノアザミ 春に咲くアザミが今も元気に咲いている



白侘助 シロワビスケ 樺の仲間



万両 マンリョウ お正月のおめでたい植物



千両 センリョウ お正月のおめでたい植物



十両 ジュウリョウ 正式な名前はヤブコウジ

冬芽



英蒨 ガマズミ



赤四手 アカシデ



犬四手 イヌシデ



岩絡み イワガラミ



眞弓 マユミ



荒檜 アラカシ



榊 タブノキ



槻 ケヤキ 公園内にケヤキは無く、近くから飛んできた様子。ケヤキは枝ごと散ることによって、枯れ葉を翼がわりに利用する。枝先の葉は飛ぶために小さく、他は大きい



竜胆 リンドウ この状態で花は終わり、タネをつける



雀瓜 スズメウリ 1cm大の熟した白い実 カラスウリに比べ小さいので雀



ルリマルミノハムシ 4mm 後ろ足発達しピョンと飛ぶ



キタキチョウ 前翅長 27mm 成虫越冬



ホソミイトトンボ♀ 38mm 成虫越冬



オオアオイトトンボ♀ 55mm 翅を半開きで止まる



オオカマキリ 卵のう



アカシデ/メ/ムレ/マツカサ/フシ 長い名の虫コブ アカシデの冬芽につく



アシブトハナアブ 14mm

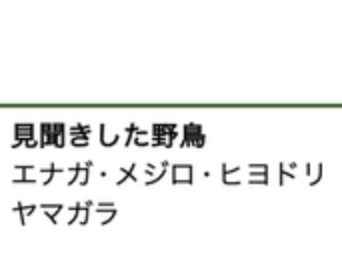


シロカネグモ の仲間 10mm

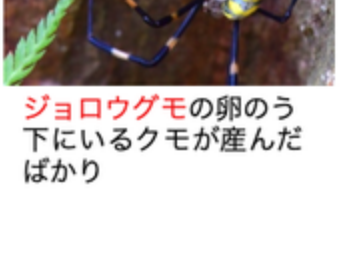
弁 天 坂



サラグモ の仲間 3mm 右のシート状の網を張る 網の高さ：地表より 5cm



見聞きした野鳥
エナガ・メジロ・ヒヨドリ
ヤマガラ



ジョロウグモ の卵のう 下にいるクモが産んだばかり



野茨 ノイバラ



吐切豆 トキリマメ



野路菊 ノジギク



吉祥草 キチジョウソウ



真葛 サネカズラ 実が熟すと真っ赤になる



錦木 ニシキギ 実が1つずつ下がる 2個はコマユミ



南天 ナンテン



蔦 ツタ(ナツツタ) 接着性の吸盤のついたツルで樹木や壁を伝う



吸盤



ナミテントウ 8mm



ホソヒラタアブ 11mm



ギンメッキゴツミグモ 3~7mm



蟹草 カニクサシダ植物
地上に出ている部分全体が
1枚の葉 2~3m ツル性



ニトベミノガ 10mm
葉を付けているミノムシ



ハラピロカマキリ卵囊



ハモリダニ 1mm ハダニ
を捕食 葉を守るダニ
虫を食べていた
老眼鏡では見えない!



櫛茸 ナラタケ 木材腐朽
菌 とても良いダシが出る
のでキノコ汁には最高

見晴らしの丘



河津桜 カワツザクラ
冬芽



山法師 ヤマボウシ
丸い形は花芽



冬芽



エゴノキ 冬芽 1つ
の葉痕に大小2つの冬芽



ヒメウラナミジャン
メ 前翅長 18-24mm

くわくわ森



ニシキギ



ムラサキツバメ 23mm
ムラサキシジミより大きい
後翅に尻尾がある



ヤマザクラ



ミズキ



ハゼノキ



権草 ゴンズイ 美味し
そうな黒い実だが、堅い
タネで鳥は騙される



紫式部 ムラサキシキブ
小粒の実にはメジロも楽に
飲み込める



鼠鞠 ネズミモチ
実がネズミのフンに似て
いるから 実は丸い



唐鼠鞠 トウネズミモチ
葉は光を通し、実は楕円
形



鶯神楽 ウグイス
カグラ 咲き始め



シロダモ 冬は花と
実が同時に見られる



山五加木 ヤマウコギ

公園のウコギは維管束
(水分や養分を運ぶ道管
や師管の集まり) が7個
あるのでヤマウコギ
オカウコギは5個です
🔍で見つけて



肉桂 ニッケイ 中国産
とされたが沖縄に在来
種あり ニッキ香辛料



藪肉桂 ヤブニッケイ
葉のつきかたはコクサギ
型葉序



小臭木 コクサギ
葉は左右交互に2枚ずつ
つく (野の花苑に生育)

葉のつきかた

互生ごせい

茎の節に1枚の葉が
互い違いにつく



対生たいせい

茎の節に2枚の葉が
向かい合ってつく



コクサギ型葉序

左右に2枚ずつの葉
がつく



枝の太さで葉の大きさが違う

櫟 クヌギ 樹木は自分から枝を落とします。クヌギ、クスノキ、サクラ
など大木の下には落枝があります。樹木は光合成をするために、葉を広げ
木々の隙間をぬって枝を伸ばしますが、どうしても日陰になる枝が出ま
す。光合成ができない枝は不必要なので、基部に離層を作り切り離します。



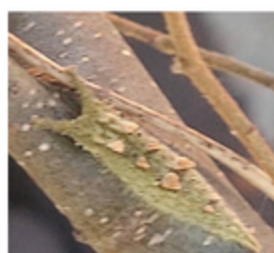
切り離れた枝・基部が少し凹んで
いる



切り離された枝・基部が少しふ
くらんでいる



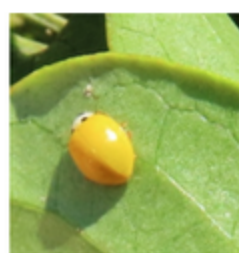
ネコハエトリ
♀ 10mm



アカボシゴマダラ 幼虫
2.5mm エノキの幼木に
いた このまま枝に居
たり、根元の枯れ葉裏で
冬越しをする



ナミテントウ
8mm
集団で越冬、日
向ぼっこ



キイロテントウ
5mm
ウドンコ病菌を
食べる益虫

野鳥

混群としてメジロ
エナガ・シジュウカラ



ダイサギ



西洋蒲公英 セイヨウタ
ンポポ 外 欧州原産
明治時代食用として入る



荒地花笠 アレチハナガサ
外 南米原産 1-2m の大き
さなのでロゼットも大きい



アキアカネ
12月なのにまだ飛んで
いる 田んぼで産卵



スギヒメハマキ 幼虫 10mm
オオブタクサの茎に潜り込み
中身を食べ、蛹になる

俣野遊水地



コバネイナゴ 33mm
元気に飛んでいた



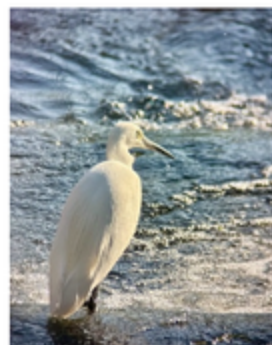
千萱 チガヤ 草紅葉
今年は草が刈り取られず野鳥の
隠れ場所が残る

境川



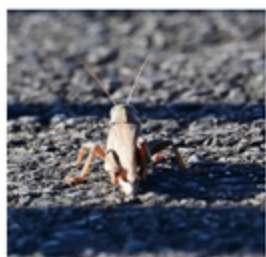
ツマグロヒョウモン♀
前翅長 45mm

和泉川

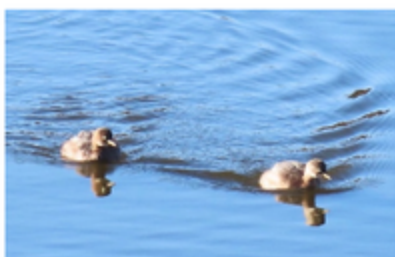


コサギ L61cm

下飯田遊水地



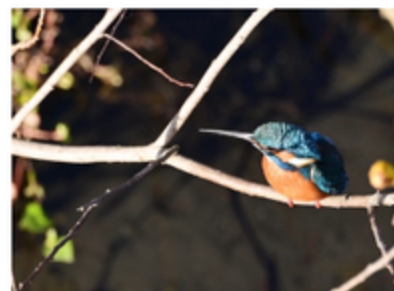
トノサマバッタ
40mm



カイツブリ L26cm



オオバン L39cm

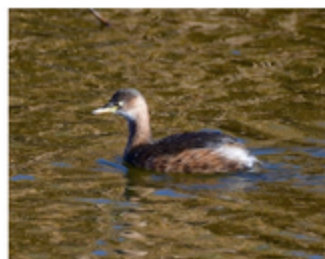


カワセミ♂ L17cm

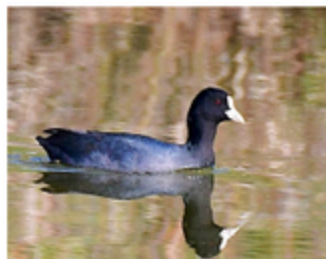
今田遊水地



ミシシippiaアカミミ
ガメ



カイツブリ



オオバン



ゴイサギ L58cm



ハクセキレイ L21cm
田んぼ近くでケラを獲って
いた

見聞きした野鳥

俣野：スズメ・カワラヒワ・ウグイス♪・モズ♂
シジュウカラ・タヒバリ・オカヨシガモ♂♀
下飯田：カルガモ・カワセミ・セグロセキレイ・
オオバン7・マガモ♀・ホオジロ・チョウゲンボ
ウ・アオジ・バン・カシラダカ・キジバト
今田：カイツブリ5・コガモ4・ダイサギ・コサ
ギ・オカヨシガモ♂2 ♀4・アオサギ

昆虫

モンシロチョウ

